

大澤秀雄先生の定年退職にあたって

日本大学経済学部長 井 尻 直 彦

大澤先生は、2001年に本学部に教授として着任されました。それからおよそ17年間にわたり、本学部の教員として教育ならびに研究に携われました。

私はこれまで学部のテニスやスキーなどのスポーツ行事で一緒させて頂いた際に、大澤先生が他の先生方とともに和やかに、そして最後まで力一杯、懸命にプレーされる姿がとても印象に残っております。学内でお目にかかるときのやや寡黙な印象とは異なり、スポーツを大いに楽しまれていらっしゃいました。また、大澤先生は学生にデータ分析のスキルを容易に学習できるよう、大澤先生がご担当されている科目と私らが担当している科目とを一冊の教科書で接続させていただくなどのこれまでに無い教育連携を実現させてくださいました。私は、公私に渡り大澤先生に本当にお世話になりましたことを感謝申し上げさせていただきます。

ここで改めて大澤先生のご経歴について簡単にご紹介したいと思います。大澤先生は、1951年に神奈川県平塚市でお生まれになり、1970年に県立平塚江南高校をご卒業後、電気通信大学電気通信学部物理工学科にご進学され、同大学同学科を1974年にご卒業されました。同年4月に同大学大学院電気通信学研究科修士課程に進学され、1976年に同大学院を修了されました。そして、同大学の助手を務められた後に、常葉学園浜松大学（現・常葉大学）にて大学教員としてのキャリアをスタートされ、愛知学泉大学を経て、本学部に2001年に統計学を担当する教授として着任されました。

大澤先生は、教育活動のかたわら、社会システム工学・安全システム、数学基礎・応用数学に関わる多数の論文や、経済・経営系の学生向けに統計学を平易に解説した教科書を執筆されるなど数多くの研究業績を残しておられます。また、日本数学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会などにおいて、研究者として学会ならびに本学部の研究活動に多大な貢献をされています。

さらに、本学部においては、経済科学研究所副委員長をはじめ、学務委員会、学生生活委員会、研究委員会など数多くの委員会の活動を通じて学部の発展に大きく貢献されました。

長年にわたり学部のためにご尽力いただきましたことへ心からお礼を申し上げますとともに、大澤先生の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念し、巻頭の辞と致します。

